

平成23年度播磨町技能職者表彰が、3人の方に贈られました

平成23年度播磨町技能職者表彰の表彰式が11月14日、町長室で行われました。今年の受表彰者は次の方々です。  
**濱田 武義さん**(北野添 柔道整復師) 非観血的外科手術の専門家として、昭和37年に開業されてから約50年間、多  
 いときには一日100人以上の患者を診療し、往診にも対応するなど地域に密着した診療を続けてこられました。また、技術習得を求める若者に対しても熱意を持って指導し、立派な柔道整復師に育てるなどの社会貢献を果たしてこられた方です。  
**栗本 健造さん**(西野添) 板金工 昭和55年に独立し、以後、30年以上に渡り板金工事に携わってこられました。現場での積極的な意見提案、オリジナル商品の開発など、培ってこられた豊富な知識と技術、人一倍の研究熱心さに

は定評があります。また、指導者として、次世代の後継者の育成にも貢献しており、技能者の模範となる人物です。

**室田 薫さん**(北本庄) 左官業 人一倍伝統技能の習得に努め、人の仕事を見て漆喰や黒磨きなどを修めてこられた氏の技術技能は、左官仕事が増減し伝統技術が失われつつある今、大変貴重なものです。また、最近では伝統工法が失われつつあることを憂いて若い職人が技術を学べるよう工夫するなど後進の育成にも力を注いでおられる方です。



播州歌舞伎〜中央公民館文化講演会〜

11月19日「播州歌舞伎」の公演がありました。当公民館での歌舞伎公演は初めてということで、開場前から多数の皆さんが列をなして待つほどの盛況ぶりでした。  
 演者は多可町中央公民館播州歌舞伎クラブの皆さんで、演目「二谷嫩軍記熊谷陣屋の段」を20代の女性たちが演じました。その人情物語に思わず涙する人も多数あり、また大見得をきる役者姿に大喝采があがりました。公演後には役者さんとの交流もあり、観劇者からは次回の公演を望む声もあるほど好評でした。  
 中央公民館では、今後も文化講演事業として、いろいろなものを皆さまにお届けしていきたいと思っております。



▲身近な場所で歌舞伎が観覧できました

麻薬・覚せい剤乱用防止運動兵庫大会 亀田龍昇さんに厚生労働省医薬食品局長表彰、ガールスカウト兵庫県第26団に感謝状

麻薬・覚せい剤乱用防止運動兵庫大会(主催 厚生労働省、兵庫県、兵庫薬物乱用防止指導員協議会)が11月5日、神戸市立新長田勤労市民センター別館で開催されました。  
 大会の中で、亀田龍昇さん(野添)が、厚生労働省医薬食品局長表彰を授けられました。亀田さんは、昭和59年から

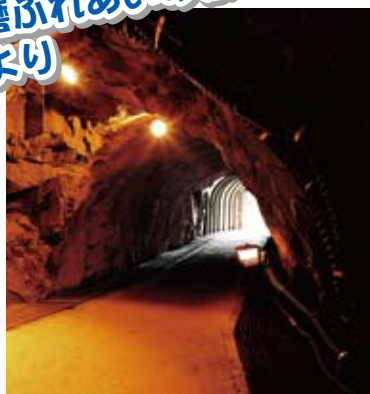
の覚せい剤乱用防止推進員としての取り組みをはじめ、兵庫県薬物乱用防止指導員協議会の監事を努めるなどの多くの功績をたたえられての表彰となりました。  
 また、(社)ガールスカウト日本連盟兵庫県第26団(本庄・平郡真司団委員長)に、知事感謝状が贈られました。

はっちゃんけ!! わんぱくまつり!

播磨町学童保育指導員会

11月20日蓮池小学校で「はっちゃんけ!! わんぱくまつり!」が開催されました。工作コーナー、エアドーム、しんぶんプールが人気となり、夢中になって遊ぶ子どもたちの姿であふれました。播磨町学童保育指導員会では、子どもたちに「あそび」の素晴らしさを伝え、子どもが本来持っている「あそび心」を取り戻したいという思いで、これからも、地域と協力し社会全体で「あそび心」を育てていけたらと願っています。

播磨ふれあいの家 だより



◀史跡生野銀山坑道内

生野銀山と温泉 ツアー

◆出発日 2月15日(水)、29日(水)

◆参加費 4,500円/人(昼食代、入場料、入浴利用含む) ※最低催行人員10人

◆行程 土山駅10:00→播磨町役場10:10→各コミセン→市川PA11:10～11:20→ふれあいの家12:00～13:00→生野銀山13:30～14:30→竹取の湯15:10～16:00→各コミセン→播磨町役場→土山駅17:00

※タオルは持参してください。

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

わんぱくまつり



とみなが すみか 富永 澄佳ちゃん(11歳)、  
 そら 空くん(2歳)、 たかひこ 健彦くん(4歳)  
 北本庄

笑顔いっぱい明るい3人でいてね♡  
 パパ・ママより

楽屋裏

まちのバリアの調査(P4)や、播磨町いいとこ写真展(P12)を見ていると、段差や道幅、施設の設定について、「ああ、そうだったのか」気付くことがいくつもあります。また、少し目線を変えるとほっとする景色や場面にも出会います。

不便なところを見直すこと、大切なものに気付くことその両方をまちづくりに生かして、播磨町が「ずっと住み続けたいまち」になることを目指します。新年が、住民の皆さまにとって、よい年になりますように...

(宮)

いいね! はりま

町政 レポート No.60



▲福岡県知事小川洋さんと一緒に

新しい年の平穏を祈りつつ、元旦を迎えました。今年は町制施行50周年を迎えます。私の今年のキーワードは「煌めく」。暗い世相の昨今ですが、そんなときこそ、まちの中にいろいろな意味で「きらめく空間」「きらめく話題」を創出することができればと思っています。若者にも愛着を持っていただき、ちょっと自慢したくなるような、そんなすてきなスポットづくりが実現できればと思っています。

■現在、全国933の町村で、女性町長は6人です。2年前の第1回目は東神楽町でしたが、「第2回全国女性町長サミット」が、11月に北九州の苅田町で開催されました。まず福岡県においては、知事や女性の副知事のご出席をいただき、県内でご活躍の女性リーダーたちとともに意見交換、交流会を行いました。先進的な事業展開をされている「男女共同参画推進センター」も訪問し、福岡県の取り組みを学ばせていただきました。次にサミット会場である苅田町に移動し、毎年、不交付団体となっている苅田町の豊かな財政状況をつぶさに見せていただきました。山あり、海あり、空港あり、自動車やセメント会社など大企業が多く立地している苅田町では、過去に作られた施設の豪華さは他に類を見ないほどのものでした。夜には近隣の市町長を始めとして、大勢の方々のご参加を得て、盛大なレセプションが開催されました。最終日には、6人の女性町長がそれぞれの町の取り組みなど発表、意見交換、サミット宣言を行いました。今回のサミットで、お世話になった皆様にご挨拶申し上げます。なお、このサミット宣言については、11月末、全国町村長大会で上京した折に、他の女性町長と一緒に、内閣府の男女共同参画局を訪れ、岡島局長や審議官など政府関係者に手渡しました。

播磨町長 清水ひろ子